

2026 年度 特技推薦・スポーツ文化部門 I 期

予備審査 課題レポート

1996 年～2003 年にかけて、大阪市立松虫中学校の陸上部は、「公立中学の陸上部として 7 年間で 13 回の全国制覇（日本一）」を達成しました。

この陸上部における指導法は、明確な目標設定を立てて継続的に努力する「自立型人間の育成」を重視した理念に基づいています。

この方法では「マンダラチャート」というフレームワークが利用されており、メジャーリーグで活躍する大谷翔平選手も高校生時代に取り組んでいたことで話題になりました。

この指導法は、現在でもスポーツ・教育分野だけでなく、ビジネス分野にも幅広く応用されるようになりました。

このように“目標を立てて、実行する”ことは、重要な取り組みと言えます。

そこで、これからの大学生活 4 年間を見据えて、「マンダラチャート」を作成した上で、以下の課題について述べてください。なお、マンダラチャートの提出は求めない。

課題 1.

あなたの高校時代の取り組みを振りかえって、目標達成できたこと、もしくはできなかったことを数点挙げてください。またその理由について説明してください。(800 文字)

課題 2.

将来の大学生活 4 年間を通して、「自立した社会人に向けて」取り組みたい最終目標を挙げてください。さらにこの目標を達成するための具体的な行動目標を数点挙げて、その理由について説明してください。(800 文字)

※課題 1. 2. それぞれに解答用紙を用意の上(同封原稿をコピーする)解答してください。

※解答用紙への記入は、すべて手書き(ボールペン等消えないペン)で記入してください。

以上